

この度、茨城県水戸市内で16年にわたり活動している現代美術家・矢口かつ信による前衛表現実験場祭後ノ興行『青天井棧敷』をワシントン跡地に於いて今夏開催いたします。



前衛表現実験場祭後ノ興行
青天井棧敷
作・演出 矢口かつ信
昭和九十九年七月十九日―八月二十四日
ワシントン跡地に於いて



本興行は、茨城県水戸市に所在する「ワシントン跡地」における最後の企画として構想されたものです。

作・演出を担当する矢口かつ信は、2008年に一軒の空き家に魅せられ、そこを舞台に《祭後の家》と題した作品を発表しました。これは、消えゆく建物の最後を祭る期間限定の展示として想定されていたわけですが、その後、解体は延期され「小料理喫茶ワシントン」として営業を続けていくこととなります。これと並行して、「ワシントン祭り」の開催や「和心団新聞」の発行などの地域に根ざした社会実践を展開してきました。

2013年には、諸事情により建屋は解体されることになったわけですが、そのプロセスさえもパフォーマンスとして位置づけ、オルタナティブスペース「ワシントン跡地」として再生され、現在に至ります。同地では、屋根をはずしたことにより出現した野外空間を舞台に、実験的な演劇や映像上映などを実施してきました。一連のプロジェクトから生まれた作品の一部は、パリ・フォト（2017年）やリステ・アートフェアバーゼル（2018年）などにおいて発表してきました。

そして、2024年現在、いよいよ「ワシントン跡地」が更地に戻つつあることを機に、再びこの場所に対する感謝と鎮魂の思いを込めて、祭後ノ興行として「青天井棧敷」を実施する運びとなりました。日々変化していく建物の姿とあわせて、その現場を共有することができれば幸いです。

【みどころ】

1. 即興パフォーマンス「無駄な人たち」

今回の「青天井棧敷」の中核をなす公演です。「小料理喫茶ワシントン」の立ち上げ時から活動を見守り、「ワシントン祭り」のキャンペーンガールも務めた大金恵子と長い旅路から舞い戻った克治郎が、コロナ禍を経て久しぶりに「ワシントン跡地」の舞台に登場します。

2. 記録映像上映「野生の施工」

2013年以降、「小料理喫茶ワシントン」の建屋を矢口自身が手作業で解体から増築していく様子を記録した膨大な映像から編集した作品を上映します。日々姿を変えていく「ワシントン跡地」を背景に、野外シアターをお楽しみいただけます。

3. 新作・国内未発表作品を含む作品展覧「ワシントンドキュメンタリー図 2008-2024」

2008年から現在に至るまで、この場所から多くの作品が生み出されてきました。その一部は、これまで「パリ・フォト」や「リステ・アートフェアバーゼル」など主に海外で展示をしてきましたが、国内でまとめて発表する初めての機会となります。

【開催概要】

◎開催期間：2024年7月19日（金）―8月24日（土）

◎開帳日：会期中の木・金・土曜日のみ*即興パフォーマンス開催日は閉帳

作品展覧 17:00~21:00 / 記録映像上映 19:10~20:40

料金：1,000円 *会期中は何度でも再入場可

◎即興パフォーマンス公演日：8月16日（金）、17日（土）19:10開演（18:30開場）

前売り券：1,800円 当日：2,000円

◎即興パフォーマンス前売り券

・ワシントン跡地 電話：050-3690-3387・みちのく喫茶ワシントン 電話：0197-22-5723・チケットぴあコード：527363 *来場時に前売り購入特典グッズあり♥

◎会場：ワシントン跡地 310-0021 茨城県水戸市南町一丁目2番地10号サントピア通り

【みどころ参考画像】

1. 即興パフォーマンス「無駄な人たち」



大金恵子、2010年、撮影：市川寛也



克治郎、2016年、撮影：金田幸三



ワシントン跡地、西側、2020年

2. 記録映像上映「野生の施工」



ワシントン跡地、東側、2024年



『野生の施工』2013-2024年

3. 新作・国内未発表作品を含む作品展覧「ワシントンドキュメンタリー図 2008-2024」



パリ・フォトでの展示風景、グラン・パレ、パリ、フランス、2017年



『原像の現像 (Remnants' Replay)』2018年



『無題 (ビューティフル・マウンテン)』2017-2024年

【取材・プレスに関するお問い合わせ】

Keiko Ogane Gallery / ワシントン跡地事務局 広報担当：奥野 電話番号：050-3690-3387

メール：aotenjo@washingtown.jp ホームページ：https://washingtown.jp

